

鷲ヶ巢山山行記録



目的地	鷲ヶ巢山	期 日	平成20年5月17日(土)：晴	特 記	標高にしては手ごわい山
山行人	本間さん、メグさん、イッチャン、サッチャン、雅子さま、かずえちゃん、笠原正雄(上山時の順?)				

地点名	時刻	記 事
与 板	4:30 発	5:45 にふるさと村でかしまし～s 4人と待ち合わせ。新発田R7で2人と合流。
縄文の里駐車場	7:20～7:35	路線バスが駐まっていた。一夫婦もこれから登ると言う。沼田林道はゲートで閉鎖。そこを500m程でポストのある登山口。杉林から始まる。
沢 を 渡 る	8:00	未明の雨で下が湿っている。山ビルの好条件だ。早速お出まし、皆大騒ぎ。歩き出しから直ぐに汗が滲み、この先の登路で長袖シャツ一枚になる。先頭に立ったメグはヒルが怖くて特急だ。所々で立ち止まりズボンの裾をまくってヒルにやられていないか確認する。靴下に一匹、すんでの所で被害に遭うところであった。
登 路 で 休 む	9:00	地面も乾きはじめた所まで来てヒルの心配がなくなる。少し食べる。
鷲ヶ巢避難小屋	9:15	数人が雨宿り出来る程度のバス停風。山頂⇄展望台とあるが、立ち木で見えない。付近に塩ビパイプを引いた水場があるが、水は出していない。
前 ノ 岳	9:40	三角点。中ノ岳と山頂を望む(写真左)。下に三面貯水池。朝日連峰が霞んでいる。7人隊のうちの3人がやって来た。彼らはヒルに注意を払わずに来たようだ。
鞍 部	10:00	およそ15分降ろされる。
中 ノ 岳 分 岐	10:45～10:55	かなりの急登もある登り返し、ピークは帰りに踏むことにしてショートカットに行く。少し先に進んだ広い所で休む。周囲にイワウチワが咲いている。
大日如来尊碑	11:10	稜線に上って展望が良くなる。標高点柱あり。前記3人に追い越される。
立 ち 休 み	11:30	ずっと立ち上がっている山頂に向かう登りの手前で休む。この手前は藪や笹で地面が見えず歩き難い。進路もそれらで覆われていて、分かりづらい。
緑のトンネル		新緑の樹々に囲まれた緩登から始まり徐々に傾斜が増して行く。
鷲ヶ巢山	12:10	10分前、最後の登りの手前で立ち休みをして到着。直前に鷲ヶ巢神社の石の祠がある(写真中)。「祭礼5月3日」とある。先着者8人。朝日連峰は良く見えるが飯豊はまだ見えない。焼きうどんを作る。巻のコマクサの会や本間さんの知り合いの方々と楽しく過ごす。朝駐車場で一緒だった夫婦は上がって来なかった。
下 山	1:55	神社前を出発。今度は俺が先頭を勤める。不調の膝を痛めぬようゆっくり下る。
鞍 部	2:15	中ノ岳への登り返しとなる。
大日如来尊碑	2:50	朝日連峰のはっきりして来た。隠されていた飯豊が見えて来た。光兔山は直ぐ目の前。絶景に見とれる。先行下山した隊も中ノ岳頂からなかなか動かない。
中 ノ 岳	3:00	上山路は左に下がっている。通過して直ぐに頂。台地となっているピーク、石の祠がある。良く晴れて気分が良く、暫らく過ごす。ショートカット道に戻り下る。
大下りで鞍部	3:35	見事なブナ新緑が広がる。半袖で下り始めたため、虫刺され被害を受ける。
最低鞍部	3:50	もう一度登下降する。これから150m高の登り。空間にブナ大木が見事。
前 ノ 岳	4:10～4:20	三角点で休む。
鷲ヶ巢避難小屋	4:35～4:45	本間さんが水場を補修して水を出してくれた。この先メグが先頭。今度は地面も乾いてヒルの心配は無くなった。渡渉点に幕営者がいたが、ヒルは大丈夫か。
縄文の里駐車場	5:30	5分間沼田林道を歩いて到着。施設は時間閉館となっていた。アスファルトに座り込んで、登って帰って来た夏みかんをご馳走になる。
与 板 着	8:50	新発田で2人と別れる。新潟西ICで降り、スーパーで明日の山菜取り行きの昼食鍋材料の女ガニとホタテ稚貝を買う。ふるさと村で皆と別れる。

上げ下ろしが激しい山と聞いていた。行って見たいと思い、前週に地形図を購入していた。タイミングよくかしまし～sの面々と同行となった。「新潟花の山旅」では中・上級者向きとなっていた。標高にしては何故かと思っていたが、上げ下ろしに加え登山路の藪や笹覆いとその判定材料になったのだらうと納得した。

まだ、ヒルの時期としては早いだろうと高をくくっていたが、お出ましであった。粟ヶ岳でやられた経験はあるが、実際目の当たりにするのは初めてであった。本間さんの適切な対処が無かったら、被害に遭っていたであろう。現に山頂で一緒だった他パーティーはやられていた。